

令和8年度 個別学力検査（後期日程）

筑波大学 人間学群 教育学類

「論述」問題冊子

試験実施日 令和8年3月12日

実施時間 午前10:00～11:00

〔解答上の注意〕

- 1 指示があるまで問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題冊子1冊、解答用紙2枚、下書き用紙1枚が配布されていることを確認しなさい。問題冊子は表紙を含めて2頁あります。
- 3 解答に当たっては、指定された解答用紙をそれぞれ使用しなさい。
- 4 解答は、指示がない限り、日本語で書きなさい。
- 5 採点対象となるのは解答用紙だけです。
下書き用紙に書かれた内容は採点の対象となりません。
- 6 質問がある場合や、気分が悪くなった場合は、手を挙げなさい。

〔回収上の注意〕

- 1 2枚の解答用紙を、問題番号順に重ねなさい。
重ねたまま回収します。
- 2 問題冊子と下書き用紙は回収しません。持ち帰りなさい。

令和8年度 個別学力検査（後期日程）
筑波大学 人間学群 教育学類
「論述」問題

次の文章を読み、以下の二つの問に対して解答しなさい。

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

【出典】丸山英樹「ESDの深い次元 公教育の「これまで通り」から構成される学習へ」佐久間亜紀・石井英真・丸山英樹・青木栄一・仁平典宏・濱中淳子・下司晶編『教育学年報14 公教育を問い直す』世織書房、2023年、89-91頁。(一部改変)

【問1】

文章中の下線部「ESDは高度に文脈化され、教師も学習者であり、しかしすべての学習者に同様の学習成果が保証されない」とは、どのようなことか、200字以内で説明しなさい。

【問2】

「これまで通り」を前提とした議論の抱える問題点や現実問題としての環境悪化について教育する機会を見落とさないESDを実践するために、日本の初等・中等教育で児童・生徒に対してどのような教育を行う必要があるのかについて、800字以内で論じなさい。